

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/2/7	NS2-添2-018-04	耐震(計算書)(VI-2-別添3-4-1)	VI-2-別添3-4-1 逃がし安全弁用窒素ガスボンベラックの耐震性についての計算書	P.20	「～～のせん断力」の記載について、記載を適正化して説明すること。また、式の構成について説明すること。	2023/1/23	すみ肉溶接部は荷重の方向に係わらず、せん断力で評価するため、せん断力として記載しています。 なお、評価式は水平方向及び鉛直方向の地震力を考慮しています。	—	
2	2022/2/7	NS2-添2-018-07	耐震(計算書)(VI-2-別添3-5)	VI-2-別添3-5 可搬型重大事故等対処設備のうち可搬型空気浄化設備の耐震性についての計算書	P.18	式中の $\sqrt{2}$ について、何を示す値であるか説明すること。	2023/1/23	水平方向の震度を $\sqrt{2}$ 倍することで水平2方向を考慮しています。 また、その旨を本文中に追加しました。	NS2-添2-018-07 改01「VI-2-別添3-5 可搬型重大事故等対処設備のうち可搬型空気浄化設備の耐震性についての計算書」P.19	
3	2022/2/7	NS2-添2-018-01(比)	比較表(VI-2-別添3-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-別添3-1 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針)	P.46	注記*1(Sy(RT)に1.2を乗じないこと)について、記載を拡充して説明すること。	2023/1/23	VI-2-1-9「機能維持の基本方針」より呼び込む旨を追加して適正化しました。	NS2-添2-018-01 改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-別添3-1 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針)」P.48	
4	2022/2/7	NS2-添2-018-04	耐震(計算書)(VI-2-別添3-4-1)	VI-2-別添3-4-1 逃がし安全弁用窒素ガスボンベラックの耐震性についての計算書	P.14	ボンベ本体とボンベラックのモデル化について、記載を拡充して説明すること。	2023/1/23	フレームとボンベのモデル化に関する説明を下記のとおり追加しました。 固定板とボンベはX、Y方向を結合し、上部押さえとボンベはZ方向を結合している。また、ボンベ下面とフレームは結合していない。	NS2-添2-018-04 改01「VI-2-別添3-4-1 逃がし安全弁用窒素ガスボンベラックの耐震性についての計算書」P.14	
5	2022/2/7	NS2-添2-018-03	耐震(計算書)(VI-2-別添3-3)	VI-2-別添3-3 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性についての計算書	P.46	可搬式窒素供給装置の機能について、記載を拡充して説明すること。	2023/1/23	可搬式窒素供給装置の機能維持確認項目を下記のとおり適正化しました。 重大事故等時に屋外から原子炉格納容器及び格納容器フィルタベント系に窒素を供給するための容量を有すること。また、保管場所から設置場所までの自走機能を有すること。	NS2-添2-018-03 改01「VI-2-別添3-3 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性についての計算書」P.47	
6	2022/2/7	NS2-添2-018-07	耐震(計算書)(VI-2-別添3-5)	VI-2-別添3-5 可搬型重大事故等対処設備のうち可搬型空気浄化設備の耐震性についての計算書	P.10,11	アイプレートの拘束箇所について、記載を拡充して説明すること。	2023/1/23	緊急時対策所送風機(以降、送風機)は骨材で剛性を持たせる設計としています。緊急時対策所フィルタユニット(以降、フィルタユニット)は板材で剛性を持たせる設計としています。 送風機では、アイプレートを剛性の高い骨材に直接付けている為、アイプレートによる局所応答が無いものと考え、梁モデルで評価しています。そのため、アイプレートは拘束点として模擬していますが、FEMモデルには反映していません。 フィルタユニットでは、アイプレートを骨材に比べて剛性の低い板材に付けている為、アイプレートによる局所応答を考慮し、シェルモデルで評価しています。	—	
7	2022/2/7	NS2-添2-018-09	耐震(計算書)(VI-2-別添3-7)	VI-2-別添3-7 可搬型重大事故等対処設備の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果	P.17	「可搬型計測器」及び「可搬型計測器(予備)」の検討結果について、応答軸が明確であるとした考え方を説明すること。	2023/1/23	当該設備は矩形構造のラックであるため、応答軸(強軸・弱軸)が明確であると判断しました。 なお、4.1項(2)b.(a) その他」について、矩形構造である旨を追加しました。	NS2-添2-018-09 改01「VI-2-別添3-7 可搬型重大事故等対処設備の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果」P.18	
8	2022/2/7	NS2-添2-018-03	耐震(計算書)(VI-2-別添3-3)	VI-2-別添3-3 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性についての計算書	P.84	車両の最大変位量に基づき設定した離隔距離の許容限界について、余裕が小さいことから、試験における不確かさ等の要素も考慮したうえで設定の妥当性を説明すること。	2023/1/23	車両の最大変位量に対して余裕を設けた離隔距離に適正化しました。	NS2-添2-018-03 改01「VI-2-別添3-3 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性についての計算書」P.87,88	
9	2022/2/7	NS2-補-027-09	補足説明資料	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料	全般	車両型設備の評価に係る保守性について、先行プラントの資料(3.8 保守性及び不確かさの全体的な釣り合いについて)を参考に整理して説明すること。	2023/3/13	先行プラントの資料を参考に、保守性及び不確かさの全体的な釣り合いの説明を「3.8 保守性及び不確かさの全体的な釣り合いについて」に追記しました。	NS2-補-027-09改03「可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料」P.59～71	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～277は、NS2-他-282改01で整理済みのため省略。						
278	NS2-補-027-09改04	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料	P.4	第1保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリアの地下水位の設定について、鉛直動算定時に地下水位以深における $V_p=1500\text{m/s}$ 以下の非線形材料の地盤については処理を行う旨を記載しておりましたが、当該保管エリアの地盤は線形材料の岩盤であり、これらの処理が不要であるため、記載を削除しました。	2023/3/28	
279	NS2-補-027-09改04	可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料	P.48	第3保管エリア西側の最大加速度、最大変位及び最大ひずみの深度分布図について追而としていたため、図を追加しました。	2023/3/28	